

負担減へパワースーツ

環境大善が導入 労災防止も期待

消臭剤や土壌改良剤を製造販売する「環境大善」（北見、窪之内誠社長）は、社内の工場の作業員向けに荷物運搬時の足腰の負担を軽減する装着型電動補助器具（パワースーツ）を2台導入した。従業員の負担を軽減することで、高齢者や女性などが働きやすい環境



パワースーツを装着し、工場作業を行う環境大善の従業員

をつくる。

導入したのは、リュックのように背負って使うタイプの「アトウン」。腰などにかかる負担を最大で約40%低減できるという。

工場では、土壌改良剤など液体状の重い荷物を運ぶ作業があるが、さまざまな規格の製品を扱うことや費用面から、作業機械の購入

は難しかった。その中で作業員の負担軽減策として、パワースーツの導入を決めたという。

窪之内社長は、「肉体労働は疲労がたまりやすいため、労務災害を防ぐことにつながる。若い人や高齢者など幅広い属性の人が働きやすくなる」と話す。

（樋口雄大）